

市の未来を市長に提言

児童・生徒と市長が八幡平市の未来を語る会を開催



児童・生徒と市長が八幡平市の未来を語る会(市教育委員会主催)が2月23日、市役所大会議室で開催されました。会には、市内9小学校から1人ずつと、市内4中学校から2名ずつの代表者17人が出席。児童・生徒は、中学校の学区単位の4班に分かれて、市の現状分析、目指す姿、その実現への手だて、明日からできることなどを話し合い、思い描く市の将来像について田村市長へ提案しました。

児童・生徒が提案した内容には、「花を植えて景観を良くし、きれいな市をアピールする」「地元独自のスイーツを開発して観光客を呼び込む」「日本文化を海外に伝えて海外旅行者を呼び込む」「雪を利用した大会を開催して参加者を募る」などがあり、少子高齢化や人口減少の問題がある中で、市が発展するための取り組みが多くありました。

田村市長は、タイなどの東南アジア圏をターゲットに雪を生かした観光客の誘致に努めていることや、ラグビーなどのスポーツ合宿の誘致に取

り組んでいることなどを伝え、意見交換しました。参加した児童・生徒は「市の取り組みなどを知るためにも、新聞を読むことは大切だと感じた」「海外の人とも交流できるような、もっと英語を勉強したい」と、明日からできることへの実現にむけて意欲を高めていました。

◎各校の発表者

■A班 西根中学校区

小黑紗彩(大更小6年)、工藤亜美(田頭小5年)、伊藤妃順(平笠小6年)、佐藤雄紀(西根中2年)、佐藤弥千代(西根中2年)

■B班 西根第一中学校区

高橋涼太(平館小6年)、伊藤光咲(寺田小6年)、吉田望(西根第一中2年)、工藤もも葉(西根第一中2年)

■C班 松尾中学校区

佐藤夏姫(松野小6年)、小澤優奈(寄木小6年)、佐々木莉良(柏台小6年)、澤健汰(松尾中2年)、岩佐百華(松尾中2年)

■D班 安代中学校区

橋本拓樹(安代小5年)、成田健太(安代中1年)、小山田美冬(安代中2年)



1_ 事前に行われたワークショップでは地域の良さや課題などを付箋用紙に記入し話し合いました。2_ 出し合った意見を模造紙にまとめ発表準備に取り組む児童・生徒たち。3_ 田村市長の前で思い描く市の将来像を発表。4_ 発表後の意見交換では田村市長へ質問し意見を交わしました。

